



日生における海洋空間計画

Marin Spatial Planning in Hinase

高田百合奈

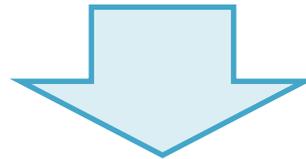
Yurina Takata

研究目的

日生における海洋空間計画（MSP）に対して、科学的情報を取りまとめ、地域知と科学的知見を融合させた形の科学を創出する場を、JFFの1つとして設計する。

ブリティッシュ・コロンビア大学での国際ws

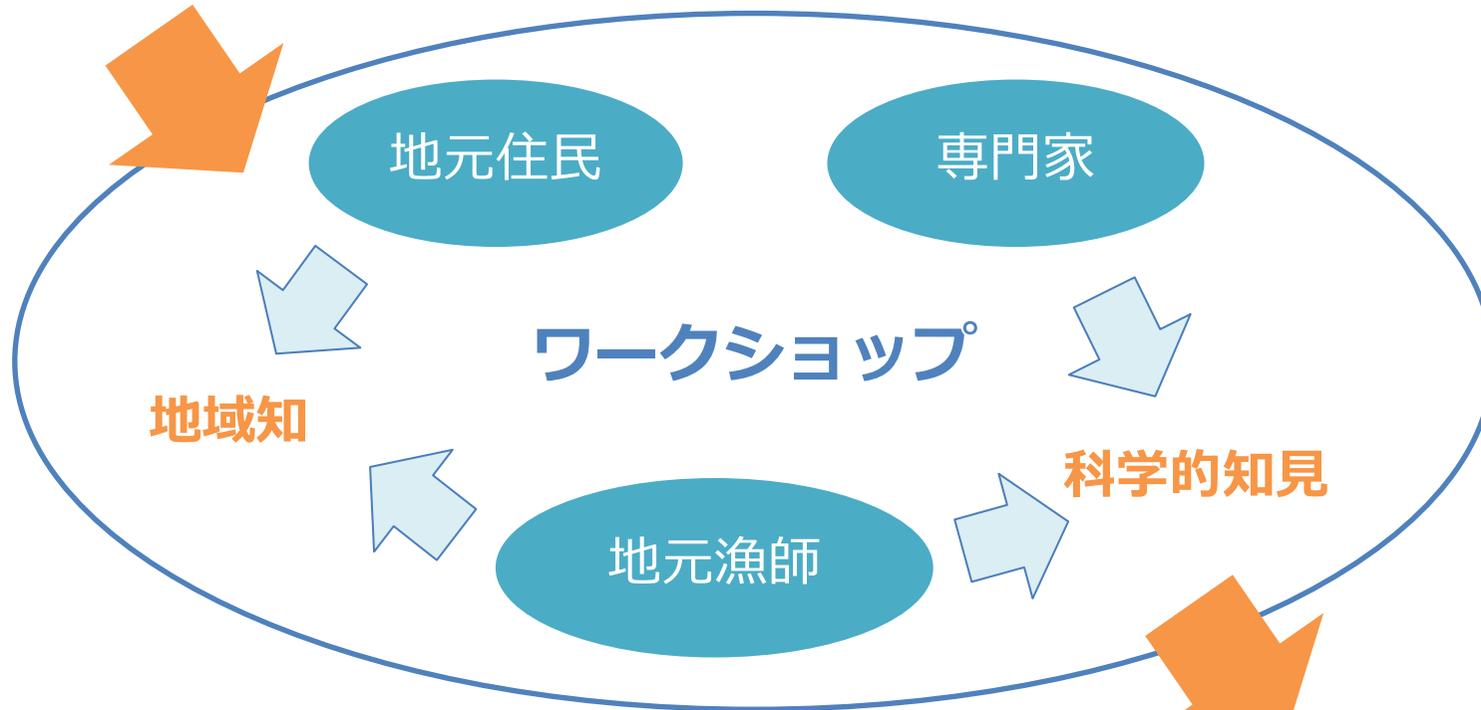
- 日生の場合は地元住民の意識の不十分さが問題
- 3Dアニメーションによる将来の予測結果の提示は、科学的情報の理解を促すことに効果的
- シナリオプランニングを用いて科学情報をステークホルダーとの協議の場で利用することは妥当



地域知と科学的知見を包含する場として、日生のMSPに対するステークホルダーの関心の向上に有効な、3Dアニメーションによる動画を生成する。

動画生成手法

3Dアニメーション
〈プロトタイプ〉

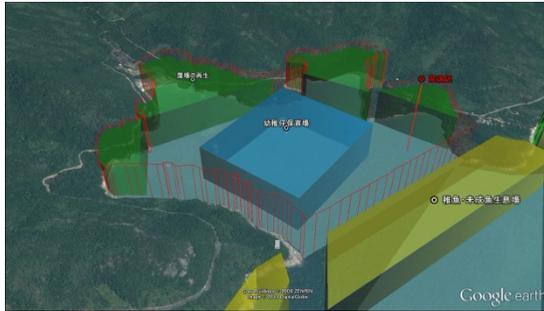


3Dアニメーション
〈完成版〉

動画生成手法

これからの日生

社会的事実に基づく日生の将来像
導入 → 海洋空間計画の説明 → 協力を促すメッセージ



▲海洋空間利用の説明



▲架橋事業の説明

2つの日生の未来

科学的情報に基づくシナリオプランニング



▲シナリオA：管理されなかった未来



▲シナリオB：管理された未来

最終動画

導入 → 海洋空間計画の説明 → **2つの日生の未来** → 協力を促すメッセージ

ワークショップ

- **目的：**

- 日生について知りたいことの収集
- MSP の関心度の調査
- 科学的情報の理解度の調査

- **実施日：**

- 1回目：2013年6月15日（土）
- 2回目：2014年1月18日（土）

- **参加者：**

- 1回目：中高大生、岡山生協組合員（27名）
- 2回目：日生中学校生徒（18名）

- **手法：**

- アンケート、グループワーク、クイズ



▲第1回目ワークショップの様子



▲第2回目ワークショップの様子

ワークショップの結果より

日生について知りたいことの収集

- ⇒ 専門家から科学的知見の収集
- ⇒ 動画に反映

科学的情報の理解度の調査

科学的情報に関するクイズの正答率は、3問中2問が100%、1問が約90%。

- ⇒ 本動画は科学的情報の理解に貢献出来る。

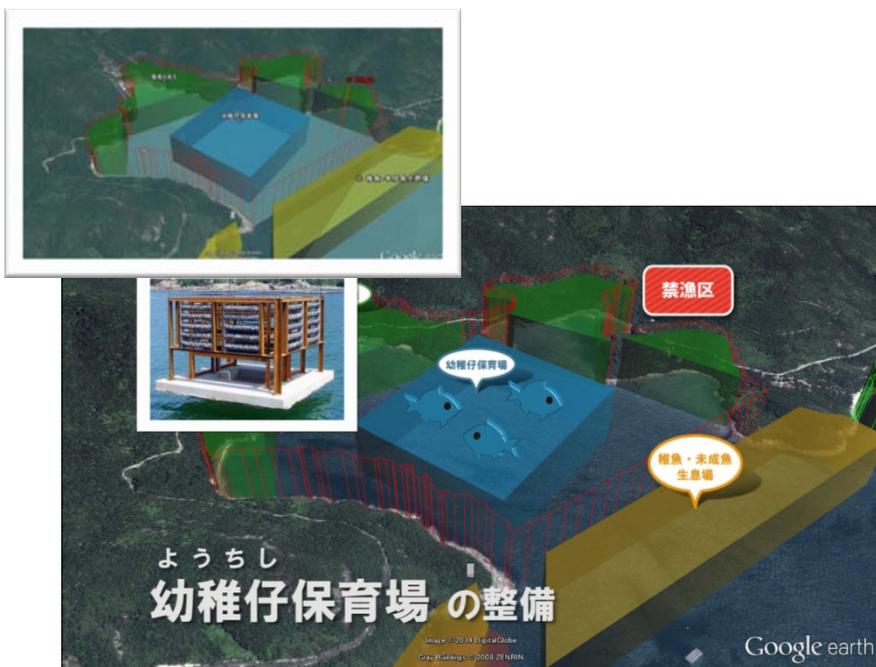
3Dモデルを用いて示した科学的情報は、分かりやすいという好意的意見。

- ⇒ 3Dアニメーションは科学的情報の理解に役立つ。

MSPの関心度の調査

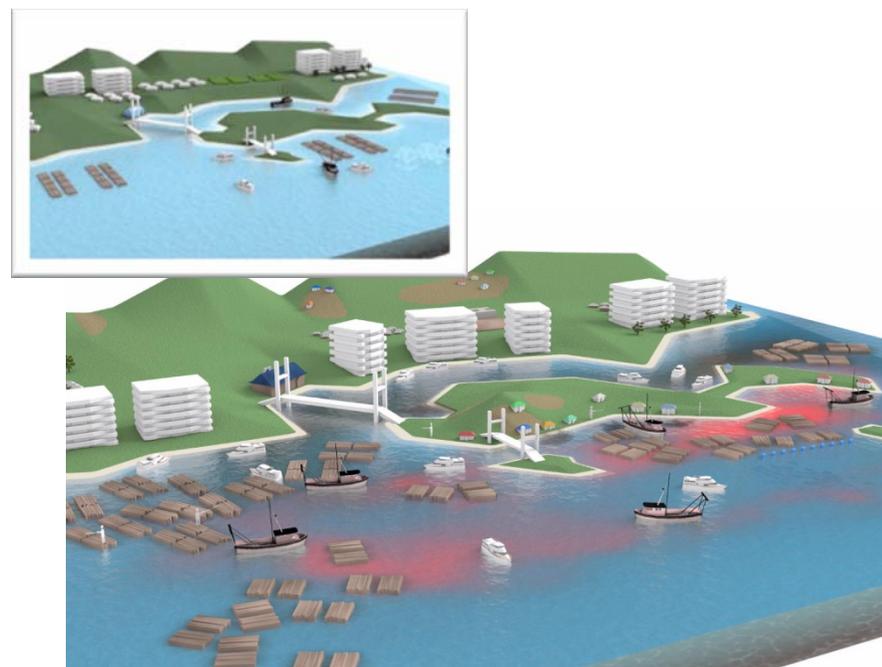
日生の海の為に出来ることを考えるグループワークでは、動画内で触れていなかった項目が42%と約半数挙げられた。

- ⇒ 地元住民の政策への関心を向上させる効果がある。



▲海洋空間利用の説明

▼アマモの効果の説明



▲シナリオA：管理なし



▼シナリオB：管理あり



最終アンケート（予定）

- **目的：**

- MSP の関心度の調査
- 科学的情報の理解度の調査

- **実施日：**

- 10月予定

- **参加者：**

- 日生中学校生徒（前回の18名を含む、3年生全員）

- **手法：**

- アンケート

- 本動画は、地域知と科学的知見を融合させた科学のすがたを示すことができ、科学コミュニケーションや合意形成の場に役立つツールとなると期待。

- この動画生成手法を、JFFの1つとして提案する。